

# 日中環境ビジネス交流の在り方

2011年8月1日

日中低炭素社会フォーラム@長富宮酒店

# パネルディスカッション開催の趣旨

- 経済成長が進む中国では、エコシティを始め様々な環境問題への対応が進む
- 中国の隣国として以下の共通点を持つ、「環境課題解決先進国」日本が培った関連技術を、適用する余地は大きい
  - 高い人口密集率
  - アジア的生活文化・習慣
  - 温帯～亜熱帯に跨る気候帯
- 日本が中国の技術を活用する余地も大きい
  - 日本企業の競争力を強化して、共にアジア諸国をはじめ世界に展開
- 環境技術分野における日中ビジネス交流は、現時点においても一定の成果を上げているが、そのポテンシャルからすれば不十分
- 双方にとって互恵的な交流をより一層拡大する方法について、本音の議論を行い今後につなげたい

# 本日の進行

1. 日中両国政府によるプレゼンテーション  
両国政府の認識
2. 問題提起  
コーディネーターによる問題提起
3. パネルディスカッション  
両国有識者によるディスカッション
4. 質疑応答  
政府、有識者に対する質疑
5. 全体のまとめ  
コーディネーターによる議論の総括

# 問題提起1： 中国側のニーズに日本の技術が適合しない

そもそもお互いの前提が異なる	中国の期待は不動産開発だが日本の期待は製品や工事の売り込み	
ソリューション提案ができない	ソリューション提案力の不足	日本側のビジョン・計画能力不足
		日本側の総合力不足
		中国側の都市運営への理解不足
	中国側の収益モデルが描けていない	PPP等公的負担オプションが未成熟
		低炭素化予算が不十分
ニーズに合った技術が無い	日本には存在しない技術	
	日本に存在するが発掘できなかった	日本側の技術探索努力不足
		双方の中国におけるニーズ観察が不足
		大企業の先端技術より中堅・中小企業の汎用技術がニーズに適合
技術は有るが条件が合わない (知財関係は別途検討)	価格が高い	競合に対して高価格
		日本の技術がオーバースペック
		経済・社会上の前提条件相違による経済性の問題(エネルギーコストや規制等)
		日本の真価(誠実にやりぬく)を中国側が理解しない
	提供形態が合わない	運営まで含めた一貫契約が出来ない
		一部のキーパーツやサービスに限定した提供が出来ない
	日本側の意思決定が遅い	
輸出入に関する法制度上の問題	中国側の問題	
	日本側の問題	
	日中双方の問題	

# 問題提起2: 契約に関する双方の問題

契約履行不安による日本側の消極姿勢 (知財関係は別途検討)	単なる杞憂 したたかな中国企業の存在	日本側の信用チェックが不十分 中国側で法と正義が不徹底な地域
	相互理解の不足による祖語	中国の変化に対する日本側の理解不足 相互の商慣習に関する理解不足
知財の取り扱いに関する日本側の不安	知財盗用への危惧 「ブーメラン現象」への危惧	
	日本側の合弁や知財供与に対する習熟が不足	

# 本日の総括

## 隗より始めよ

### 今王誠欲致士、先従隗始

「戦国策」より

かつて燕の大臣郭隗は、優秀な人材を集める方法を問うた昭王に、先ず私から手厚く処遇すればおって私以上の賢人が遠くからやって来るでしょう、と応え、結果はその通りになった。

転じて、大きな計画も手じかなところから始めよ、先ず、提案した本人から実行にとりかかるべきだという事を意味するようになった。